

1 題材名 「誕生会をしよう」

2 題材について

小学部では、誕生会の単元を6年間通じて設定し、「性に関する指導」のねらいを取り入れている。学年ごとに関連して扱うねらいはさまざまである。児童や学級の実態等から、ねらいや内容を選定し年間指導計画に示し実施している。また、学年ごとの指導内容が分かるように6年間を通じての指導の記録を残し、次の学年へつなげている。

この小学部2年の学級では、在籍する児童の誕生日にできる限り近い日に誕生会当日を設定し、年6回(在籍児童数)、年間を通して繰り返し行っている。この誕生会を通して、自分がお母さんのお腹から生まれてきたこと、生まれてきたことを家族が喜んだことを伝えながら、一人一人にとって特別な日であることや自分や友だちを大切にすることを育んでいきたいと設定した。

そのため、『誕生者がやりたい活動をみんなで行う』という活動(◎おたのしみ)を取り入れた。誕生者がやりたい活動を考え、まわりの友だちに伝える機会を設けることで、誕生者は自分の気持ちを伝え、受け止めてもらうという機会をもつことができる。また、その他の児童は友だちのことや好きなことを知る機会になる。そして、その活動を友だちや教師と一緒にいき、かかわりをもつ機会を設けることで、活動や気持ちを他者と共有することや身近な人との共感関係を育んだりするきっかけになり、人とのかかわりの広がりが期待できると考える。

3 本時の学習

(1) 目標

- ・友だちや教師と話したり、かかわったりすることを通して、みんなで一緒に活動することを楽しむ。
- ・誕生会の活動に見通しをもち、自分から活動に向かう。
- ・誕生者が楽しかった活動を知る。

(2) 展開

学習活動	児童の活動(○)と教師の支援(●)						準備物	
	A	B	C	D	E	F		
1. あいさつ	○当番の児童の号令に合わせてあいさつをする。 ●上体を起こして挨拶できるよう必要に応じて声をかける。「はじめましょう」の発声や礼、身振りやタッチを促す。						・スケジュール ・年間誕生日表 ・単元の予定表	
2. おはなし	○活動の流れを知る。 ●単元の予定表で誕生会の本番であることを示し、本時のスケジュールで活動の流れを伝える。 ●役割分担表を提示してそれぞれの役割を確認する。 ●イラストを用いて誕生日について説明し、「誕生者が笑顔になる誕生会にしよう」ということを伝えて、児童の気持ちを高める。						・役割分担表 ・誕生日のイラスト	
3. 準備をしよう ※誕生者 A,Bとその他の児童に分かれて行う。	○廊下へ移動する。 ●これからすることがわかって移動できるよう、具体物を提示して声をかける。 [AT2]	○準備の内容を知る。 ●具体物や言葉で準備の内容を伝える。準備の際には、自分たちで準備ができるよう見守ったり、必要なことを確認したりする。	○お皿と紙コップを準備する。	○誕生会ができるように、椅子を配置する。	○お皿と紙コップを準備する。	○お皿と紙コップを準備する。	○誕生会の看板を黒板にかける。	・誕生者自己紹介用グッズ ・ホワイトボード ・誕生者かんむり ・看板 ・準備の分担表 ・プログラム ・マーカーパッド

	○衣装の準備と自己紹介の練習をする。	●お皿や紙コップの数を確認する。置く場所が分かるように、トレイにシールを貼っておく。 [CT]	●椅子が配置できるように、床に顔写真等の配置を示しておく。	●活動に取り組みにくい時には、様子を見て教師と一緒に活動する。 [CT]	●進んで取り組めるように、何を準備したいか尋ねてから取り組むようにする。 [CT]	●看板を提示し、黑板にかけることを伝えて見守る。 [AT3]	・ケーキ(ろうそく) ・おやつ、お茶 ・お皿、紙コップ ・トレイ、ランチョマット
	○誕生会の始めの席につく。誕生者は廊下で待つ。 ●自分の席につくよう声をかける。						
4. 誕生会をしよう	○友だちののこを見たり、教師や友だちとかがわたりしながら、活動する。 ○自分の役割を果たしながら、誕生会に参加する。 ●児童の様子や上手にできたことをその都度全体に伝える。 ●児童が役割を果たせるように必要に応じて言葉かけをしたり手掛かりになるものを示したりする。 ●ふりかえりで児童の手がかりとなるように、児童の様子をタブレットで撮影しておく。 [AT2]						
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①入場 ②はじめのあいさつ ③Aさんのおはなし(誕生者自己紹介)</p> <p>④ろうそく消し ⑤くす玉わり ⑥おたのしみ ⑦おやつ</p> </div>						
	○自己紹介をしたり、ろうそくを消したり等の誕生者の活動に取り組む。 ●自己紹介やおたのしみで自分の好きな活動が紹介できるように、 <u>絵や写真カード</u> を用いて、指さしや言葉を促したりする。	○⑦お皿を配る。 ●「～さん、どうぞ」という言葉を添えて配ることを事前に伝えておく。	○④⑤ろうそく消しやくす玉わりのための準備や進行をする。 ●進行の言葉が言えるように、台詞カードを準備したり、立ち位置を床に示したりしておく。 ●友だちとのかかわりがもてるように、仲立ちをする。	○⑦お皿を配る。 ●「～さん、どうぞ」という言葉を添えて配ることを事前に伝えておく。 ●活動に取り組みにくい時には、様子を見て教師と一緒に活動する。	○カードをみて進行をする。 ●言うことがわかるよう、手がかりとなる写真や絵等を貼っておく。必要に応じて指さしたり、タイミングを促したりする。	○プログラムカードをホワイトボードにかける。 ●友だちとのやりとりをできるだけ見守る。必要に応じて、友だちとの仲立ちをしたり、体を支えたり方向を示したり等の支援をする。 ●活動に関心がむくように、一緒に手を叩いたり、手がかりとなる言葉や具体物を提示したりする。	
5. ふりかえり	○誕生会を振り返る。 ●タブレットで撮影した児童の様子を提示しながら、誕生者を中心に楽しかったかどうかを尋ねたり、それぞれの児童が自分の役の仕事ができたことを褒めたりする。						・タブレット
6. あいさつ	○当番の児童の号令に合わせてあいさつをする。 ●上体を起こして挨拶できるように必要に応じて声をかける。「おわりましょう」の発声や礼、身振りやタッチを促す。						